

土木工学・建築学委員会分科会の設置について

分科会等名：IRDR 分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	土木工学・建築学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員 (医学・理学・社会科学等の専門分野における委員を含む分野横断的な構成とする。)
3	設置目的	<p>災害リスク統合研究(IRDR)は、国際学術会議(ISC)に設置されている災害リスク軽減(DRR)に関する国際科学プログラムであり、2008年より開始されている。同プログラムの国内委員会(IRDR-Japan)は、日本学術会議内に設置されており、第22期からは土木工学・建築学委員会に設置されたIRDR分科会がIRDR-Japanの任を担い、国内の災害科学及び防災・減災研究の推進、科学技術と防災実務現場との連携、国際的IRDR活動との連携を推進してきた。特に2015年に合意された仙台防災枠組の策定に当たって、科学者コミュニティとして先導的役割を担った。また、第25期には「壊滅的災害を乗り越えるためのレジリエンス確保のあり方」の提言を行った。</p> <p>第26期は、現場の関係当事者や国際学術団体、国連・国際機関、国際援助機関等との国内外連携を深め、IRDRフェーズⅡ(2022-2031)の使命において、リスクへの知識と理解の向上、イノベーションによるDRRの解決策の探索、制度面における能力向上に貢献し、IRDRの活動を牽引する。</p>
4	審議事項	<p>1. IRDR科学委員会との密接な連携により、わが国のIRDRに関する学術の振興</p> <p>2. 現場の関係当事者や国際学術団体、国連・国際機関、国際援助機関等との連携を深め、課題を明確化し、取り組むべき方法論を確立</p> <p>3. IRDRフェーズⅡ(2022-2031)の使命実現のための活動推進に貢献</p> <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和5年11月27日～令和8年9月30日
6	備考	